

◎気象警報・注意報発表時の教育活動実施基準

情 報	授業	登校前発令	登校後発令
強風 注意報	通常授業	① 今後の気象情報や地域の実状等を家族と相談し、安全に登下校できることを確認した上で登校する。 ② 安全に登下校することが心配される場合は、学校に連絡し、登校できるようになるまで、自宅で待機する。 ※ 原則、警戒レベル3の場合は、上記【①と②】とする。	気象情報や地域の実情に応じ、下校させることもある。
大雨/氾濫/ 土砂災害 注意報			
大雨/氾濫/ 土砂災害/ 警報			
暴風警報	授業中止	① 午前6時の時点で「静岡市南部」または「居住地」に警報が発令されている場合は、自宅で待機する。登校途中に警報が発令された場合は、安全を確認して帰宅する。 警報が解除され次第、気象情報や地域の実状等を踏まえ、安全に登下校できることを確認した上で登校する。授業開始時刻は一斉メールで配信する。安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡し、登校できるようになるまで、自宅で待機する。 ② 午前11時の時点で警報が解除されていない場合は「一日休校」とする。 ※一斉メールで連絡をするが 原則各家庭で判断する。	①次の事項を確認し下校させる。 【確認事項】 ・ 交通情報の確認 ・ 保護者引き取りの有無 ・ 集団下校者の確認 ・ 自転車通学生安全指導 ・ 下校途中で帰宅不能になった時の対処方法
大雨/ 氾濫/ 土砂災害/ 警報 ①～④		～以下暴風警報時と同様とする～ ① 警戒レベル4（大雨危険警報） ② 警戒レベル4（氾濫危険警報） ③ 気象防災速報（記録的短時間大雨・線状降水帯発生・線状降水帯直前予測） ④ その他（大雨により JR が清水駅上下線不通、竜巻注意報、雷注意報等）での総合的判断 以上いずれか当てはまれば授業中止判断をする。原則家庭判断とするが、一斉メールでも配信する。通信不能となる可能性があることも承知しておくこと。 ①③は静岡市南部で発令された場合、授業中止判断をする。静岡市南部以外の各居住地域の状況により家庭判断をし、自宅待機した場合には、出席停止扱いにする。 ②は静岡市南部水域発令時により授業中止判断をする。土砂災害危険警報・高潮危険警報は地域により家庭判断をし、避難等、災害に備えた行動をとる。	②安全に下校することが困難な生徒については、保護者と連絡をとり、適切な対処をする。

① 警報については、テレビ・ラジオ・インターネット等で情報を得る。

② 一斉メール（保護者：C-learning、生徒：Google Classroom）からの連絡に注意しておく。

【参考ホームページ】

- ・ 清水東高校ホームページ…<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/shimizuhigashi-h/home.nsf>（清水東高）
- ・ サイポスレーダー…<http://sipos.shizuoka2.jp/sipos/index./htm>（静岡県土木総合防災情報）
- ・ 気象庁キキクル…https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level&area_type=class20s&area_code=2210001
（気象庁 | 静岡市南部の防災情報）

※各学校、生徒の実状（通学範囲等）及び周辺の状況（立地条件、公共交通機関の状況等）を踏まえ、生徒の安全を優先にした柔軟な対応を行う。

※気象庁や市町から発表される情報（警戒レベル）を考慮する。